

BHELP(BasicHealth Emergency Life Support for Public)とは、

「被災地での活動を効果的・効率的に実践するために災害対応における知識、共通の言語と原則を理解し、被災者の生命と健康の維持、災害発生直後からの被災地内での災害対応能力の向上に資すること」を目的とした日本災害医学会の教育コースです。

日時：2025年2月1日(土) 9時30分～17時00分

会場：愛仁会リハビリテーション病院 7階 会議室

受講対象：被災地域内で発災直後から支援者となり得る医療・保健・福祉に関連する専門職及び、その受験資格が可能な教育機関の学生、防災業務に従事する行政職員

募集人数：24名 *定員に達し次第申し込みを終了する場合がございます

受講料：5,000円 事前振込

*受講採否の連絡時に振込先をご案内します。入金確認後、受講確定となります

コース運営者・お問合せ：松岡 雅一(職能局) m_matsuoka0815@yahoo.co.jp

主催：大阪府大規模災害リハビリテーション支援研究会

協力：大阪 JRAT (大阪府理学療法士会)

【コース概要】

軸は CSCA**HHH**：**Healthcare Triage** (ヘルスケア・トリアージ)、**Helping Hand** (手を差し伸べる)
Handover (つなぐ)

1) 講義

- ・災害医療体制の概要と医療対応の原則
- ・避難所、福祉避難所の概要、体制構築および運営上の留意点
- ・避難所の環境改善に必要な情報収集のためのアセスメントシートの活用
- ・避難所生活により生じやすい健康問題とその予防法
- ・被災地域内外の支援者との連携協力

2) 演習：講義で学習した内容を活用して、以下の演習を行います。

- ・トリアージ・保健福祉的視点によるトリアージ・CSCAを意識した対応
- ・アセスメントシートを活用した避難所の情報収集と評価・避難所のレイアウト

【申込方法】DPORT(災害医療イベントポータルサイト)より、「第4回 大阪 BHELP 標準コース」を選択し、フォームよりお申込み下さい。下記 URL・QR コードからもお申込みできます。



[災害医療イベントポータルサイト D-PORT \(mcls.jp\)](https://mcls.jp)

【応募締切】2025年1月20日(月) 23時59分まで

※ 開催施設や学会事務局では問い合わせに対応していませんのでご注意ください。